



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1995-96

Act with Integrity
Serve with Love
Work for Peace

真心の行動 ● 慈愛の奉仕 ● 平和に挺身
1995～96年度・国際ロータリーのテーマ／ハーバードG.ブラウンR.I.会長

●本日の例会

5月31日／第464回例会

■卓話 イニシエーションスピーチ 「インターネットあれこれ」

当クラブ会員・㈱富士通ビジネスシステム専務取締役 小杉真史君

●先週報告

5月24日／第463回例会



浅尾 新一郎 氏

■卓話「国際交流について」

特殊法人国際交流基金理事長 浅尾 新一郎 氏

■幹事報告

来る6月21日(金)は夜間例会(18:00～20:00)を開催いたします。当日はゲストスピーカーに間野実花氏(小原健会員夫人)をお迎えして、「私のキッチン健康法」と云うテーマで日常生活に密着した興味深いお話を頂戴致します。是非ご家族の皆様お誘いの上、多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。

■社会奉仕委員会報告(入沢委員長)

“ワンモアポスト”として使用済み切手、書き損じハガキの収集をお願いしてまいりましたが5月31日(金)をもって締め切らせていただきます。ご協力ありがとうございました。

■親睦活動委員会報告(川鍋委員長)

①本年度最後の火曜会を6月4日(火)に「私の3分間スピーチ」と題して行ないます。多数のご参加を頂き、皆様から1年間を振り返っての感想やいろいろなご意見をお聞きしながら最後の火曜会を多くの方々と楽しく過ごしたいと思っておりますので是非ご出席の程お願い致します。

②6月14日(木)18:00より当委員会最後の活動として第2回新会員歓迎会並びに本年度末打ち上げ会をニューサテライトホテル芝浦で行ないます。和洋中の美味しいお料理を食しながら6名の新会員をお迎えし、多くの会員の方々と過ごしたいと考えております。ちなみに5月24日現在7名の奥様を含め31名のご出席状況です。また引き続きの2次会にもどうぞご出席下さい。

■慶事披露●誕生日／四分一 勝君(5月29日)

■出席報告●会員73名・出席46名・欠席27名(出席規定免除者3名)

ビジター(6名 敬称略)／堀川武夫(東京紀尾井町)、成瀬 勝(東京原宿)、山口栄一、ファウベル、尾河洋一、鬼頭誠一(以上東京南)

ニコニコBOX

順不同・敬称略

5月24日／7件 18,000円
95～96年度累計2,058,078円
多額のご寄付を有難うございました。

小杉真史／本日はどうしても最後迄いられず途中で失礼します。世良和信／二宮会員の笑顔に誘われて。吉岡琢磨／二宮さん、丸山さん昨日はお世話になりました。馬場一廣／入梅前のさわやかな日があると心地よく、気がはれます。皆様いかがですか。梶内滋男／皆様のお陰で中学以来3年皆勤でした。横山秀明／世良さんに同じです。二宮利泰／本日ニコニコ担当です。ご協力ありがとうございました。

●次週予告

6月7日／第465回例会

■卓話予定 「私の生れ育った所」

来日青少年交換学生 Miss RACHEL E. BLASER
(米国・ネブラスカより 95. 8 来日、ホストクラブ：当クラブ)

第1分科会 会長部会

次期会長 河原勢自

会長部会の討議テーマは「クラブ運営の問題点と運営計画」「会員の増強と退会防止」である。千代田区内の意見として、運営会計の逼迫とそれに関連する増強の難しさ、活動する人とならない人の偏り、退会防止のための現実的対策等が出された。本年度RI会長が増強を強く主張することに呼応して増強が強調されたが、反面、「何のための増強か、ロータリアンとしての質の問題はないか」との疑問も提示された。

第2分科会 幹事部会

次期幹事 荒木昭文

1. 年度の引き継ぎ、予算の編成、行動計画
2. 次年度地区の要望事項の推進
3. 幹事は会長の補佐役

以上のテーマを基に、カウンセラーの矢野洋四朗パストガバナー、リーダーの竹尾正巳次期地区幹事等の方々からお話を伺った。幹事となることは、ロータリーを勉強できるチャンスと考えるべきこと、RI会長・クラブ会長テーマの良き理解者たれ、そして「手続要覧」「クラブ定款・同細則」「幹事要覧」等を精読し、「ロータリーワールド」「ガバナー月信」「ロータリーの友」等を通じてロータリー情報を常に吸収しておくようにとの助言であった。

質疑応答では多くのクラブで問題となる「会員増強と出席率向上」等が話しあわれた。

第3分科会 クラブ奉仕部会

次期クラブ奉仕委員長 保森 登

丸山ガバナーよりクラブ奉仕委員会はクラブの内部活性化のため内部をよくまとめること、小委員会できとりあげたものを理事会にかけて協議するように等の御話があり、ついで出席委員会の方より出席はロータリーの原点と強調され、情報委員会よりクラブ情報の会合はできるだけ多く持つようにと、雑誌委員会からは、前の「ロータリーの友」を調べると月間行事で何をなすべきかがわかること、「ロータリーの手引」の著者で有名な村松濱代氏が約50分にわたり「クラブを活性化するための心得」について有益な御話をされ、増強委員会より会員増強は純増10%を目標とすること、退会者減少にも努めること等の御話があった。

(注)参加者の質問にこたえ丸山ガバナーより2750地区の正式の呼び方は「ニー・ナナ・ゴー・マル地区」ではなく「二千七百五拾地区」であるとのこと。念のため。

第4分科会 職業奉仕部会

次期職業奉仕副委員長 高須康有

宮本誠之次期地区職業奉仕委員長をリーダーとし、秋山一パストガバナーをカウンセラーに迎えて分科会が進められた。はじめに職業奉仕は、ロータリーの基本であり、第一番に考えなければならぬ重要な奉仕活動であるという説明がなされ、ロータリーの綱領、四つのテスト、職業宣言についても詳しく説明がなされた。職業奉仕を難しく考え過ぎるところがあるが、身近な点から実行していくことの大切さや、内部奉仕、外部奉仕についても他クラブの活動状況がわかり、大いに勉強になった。

第5分科会 社会奉仕部会

次期社会奉仕委員長 渡部一元

分科会のカウンセラーとして岩井97-98年度ガバナー

ノミニーを迎え、未来志向の下、熱心な討論と事例紹介が行われた。主要テーマは、地域社会で果たすべきロータリークラブの奉仕活動と環境保全であった。地域社会のニーズを探り、何が必要か、何が歓迎されるかを把握し、思い付きや安易な前年度踏襲を回避する。押しつけ、自己満足等与える側の尊大さを排除する。クラブの力量の範囲内で、会員の専門を生かし、参加し易く、一人一人が実践の自覚を持つようにする。その為には地域の団体・住民との密接な共同作業が必要である。また継続と単年度については、与えられる側の期待に対し、出す方のやむを得ない状況を明確にしておく必要がある。具体的に有益な会合であった。

第6分科会 国際奉仕部会

次期国際奉仕委員長 四分一勝

今回の国際奉仕部会では国際奉仕、青少年交換、世界社会奉仕の3委員会に重点をしぼり活発な論議がなされた。国際奉仕委員会はロータリー財団の活動にも多くの時間をさいていたが、財団部会と重複するので割愛するが同額補助金を強く推進したい意向と思われる。

国際奉仕全般については国際的視野に立ち、継続性と広域性に対する対応、各国の異文化性と日本の特異性について説明がなされた。しかし最後に吉井パストガバナーの所感でのべられた現在の社会現象と同様に組織が肥大化して、国や国連がやるべき事に立ち入りすぎているのではないか、ロータリーは初心に帰るべきとの発言に共鳴をおぼえた。

第7分科会 ロータリー財団部会

次期ロータリー財団委員長 横山秀明

当分科会では「地区ロータリー財団活動の内容とその成果」というテーマで、報告と質疑応答等を行いました。

特に、財団文化研修学生（インド、ペルー各1名）とホストファミリー（1名）のみなさんの体験発表には、その真摯な内容に出席者は大きな感銘を受け、財団活動への理解を一段と深めることができました。

また、当地区次年度財団寄付目標としては、一般寄付54万ドル以上、ベネファクター135人以上と本年度実績（見込）並を予定しており、当クラブにはそれぞれ6,596ドル以上、2名（2,000ドル）以上が期待額ということとで地区より協力依頼がありました。

全てのロータリアンが参加できる世界的な規模の、「教育への貢献、そして社会奉仕の分野で役立つ為のロータリー基金」であるロータリー財団は今年80周年です。「みんなで積極的に推進していきましょう」ということで散会となりました。

第8分科会 米山奨学部会

次期国際奉仕副委員長 柳澤昭雄

日本のロータリーの独自の事業である米山記念奨学会は、今年度丁度1,000人の奨学生を数えるに至り、民間最大の奨学会として多大な成果を挙げています。本会についての歴史・現状・将来・次年度の目標等についての地区委員からの説明や質疑は大変勉強になり皆さんにも機会を得てお伝えしたいと考えます。次年度皆さんからの絶大なご協力を頂くために新作のPR用ビデオを当クラブでも購入しご覧頂きご理解を賜りたいと存じます。

東京新南ロータリークラブ

会長：山川政樹 副会長：柴藤清三郎 幹事：関 征春

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

荒木 昭文、清原 元輔、青野 信次、
植田 和男、後藤 信夫、新保 國彦、
相澤 成憲、吉田 用親、高橋 良士、
吉岡 琢磨、大村 富俊（編集担当順）